

島根大学における節電の取組実行計画(夏季)

1. 節電基本方針

島根大学は、今夏の電力需給対策として、政府の示す「2016年度夏季の電力需給対策について（平成28年5月13日 電力需給に関する検討会合）」を踏まえ、2010年度最大電力比マイナス8.0%の節電を実行するため、学生・教職員が一丸となって、計画的な電力使用の抑制に積極的に取り組む。

2. 節電目標

(1) 松江キャンパス

- ・実施期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日の使用電力量について、基準電力値（2010年【平成22年度】同期使用電力量）比マイナス8.0%とする。
- ・30分間毎の使用最大電力量を契約電力2,996kw以下とする。特に、使用最大電力は、12時～15時に示すことが多いので、この時間帯は注意する。
- ・空調設備のフィルター清掃を空調使用開始前に行うこと。

(2) 出雲キャンパス

病院の機能の維持に支障が生じない範囲で、自主的に節電に取り組む。

3. 節電実行概要

- (1) 島根大学の学生・教職員、節電目標を達成するため、自ら積極的に日常の節電に取り組む。
- (2) ホームページ、ポスター、学内放送等によって、節電実行計画期間中であることを広く周知し、理解を得ながら節電の取り組みを推進する。

4. 具体的な節電対策

(1) 空調設備

【対策】

- 1) フィルターの定期的な清掃（月1回）
- 2) クールビズの徹底，強化
- 3) 室内温度管理の遵守（28℃）
- 4) 使用していない室の空調停止
- 5) 日射対策のためのブラインド，カーテンの活用
- 6) 室内温度ムラを解消するためのサーキュレーターファン・扇風機の活用
- 7) サーバー室の適切な空調温度管理
- 8) 実験用低温室・恒温室の適切な空調温度管理

(2) 照明設備

【対策】

- 1) 執務室の照明を業務に支障のない範囲で消灯
- 2) 使用していない室の消灯
- 3) 昼休みの完全消灯
- 4) 蛍光灯の間引き点灯の実施

(3) OA機器設備等

【対策】

- 1) 席を離れるときは電源停止 モニターOFF
- 2) 電気ポット，コーヒーマーカー等の使用は極力控える
- 3) コピー機の省エネモード設定
- 4) 待機電力がある機器は元電源の停止
- 5) 洗浄便座の温水・暖房機能の設定を下げ，不使用時は蓋を閉める
- 6) 自動販売機の消灯要請
- 7) 電子レンジ，冷蔵庫の集約化および使用停止

(4) 教育研究等

【対策】

- 1) 実験用冷蔵庫・フリーザー・製氷器の共同利用による台数削減
- 2) 実験用低温室・恒温室の共同利用による台数削減

以上の節電対策の取組みを行っても使用最大電力量 2,996kwを超過する恐れがある場合は，全学メールにて更なる節電要請を実施するとともに，下記のとおり計画的に空調設備の停止を行う。

- 1) 教育・研究に支障の少ない部門より順次空調停止する。
事務関係・・・・・・・・・・図書館・学生センター・学生支援センター等
教養講義室関係・・・・・・・・大学ホール・教養1・2号館等
各学部関係・・・・・・・・・・生物資源・総理工・法文・教育等
- 2) 停止は，防災センターより中央監視装置にて強制停止する。
強制停止が出来ない場所については電話連絡にて停止要請を行う。
- 3) 停止時間は30分以内とする。
- 4) 節電要請を実施した場合，メールにて学生・教職員等に結果情報を流すとともに電力使用状況を周知する。

5. 今後の教育研究，職場環境改善のためのフォローアップについて

- (1) 本計画については，今後の節電状況や社会情勢の変化に応じ，対策の追加・見直しの検討を行い周知することとする。
- (2) 本計画の実施期間終了後の省エネ・節電対策について引き続き確認する。また，今後，以下の内容による省エネ・節電対策を検討する。
 - 1) エアコンフィルターの掃除の徹底 【集中的に清掃管理実施】
 - 2) ホームページ・メール等による節電効果の【見える化】の実現
 - 3) 建物の外壁断熱，窓の省エネガラス・日照調整フィルムの採用
 - 4) 照明のLED機器等改修
 - 5) 照明の個別スイッチ取り付けによる節電推進
 - 6) 空調効率を上げるためのサーキュレーション機器追加
 - 7) 旧式エアコンの更新
 - 8) 太陽光パネルの新設
 - 9) エアコン室外機の冷却装置の改修
 - 10) 電力平準化対策を検討する